

(12) 沖縄



沖縄地域では、景気は着実に回復している。

- ・ 観光は堅調に増加している。
- ・ 個人消費は堅調に増加している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(―は上方に変更、―は下方に変更)。

前回からの主要変更点

なし

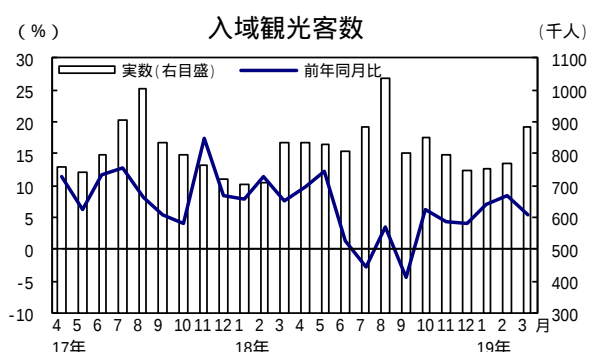
1. 観光の動向

観光は堅調に増加している。

入域観光客数のうち、国内客について、1月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、各旅行会社による旅行商品販売の取組強化があったこと等から、前年を上回った。2月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたことや、スポーツキャンプ見学や各種イベントが多かったこと等から、前年を上回った。また3月は、各航空会社の提供座席数の増加があったこと等から、前年を上回った。

外国客については、1月は、航空路線の拡充があったことやクルーズ船の寄港が増加したこと、中国人向けビザの発給緩和等から、前年を上回った。2月は、クルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。また3月は、クルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。

主要ホテルの客室稼働率は、那覇市内ホテル、リゾートホテルともに前年同期を下回っている。



入域観光客数等の動向

(単位：千人、%)

	2018年 7-9月	2018年 10-12月	2019年 1-3月	2019年 3月
入域観光客数 (前年比)	2,724 ▲0.9	2,392 4.9	2,410 7.0	884.0 5.6
ホテル稼働率 (前年差)	85.2 ▲2.6	77.5 ▲0.9	78.0 ▲2.1	80.6 ▲3.3

(備考) 1. 入域観光客数は中県観光政策課調べ。

2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

3. ホテル稼働率の前年差については、内閣府にて算出。

2. 個人消費の動向

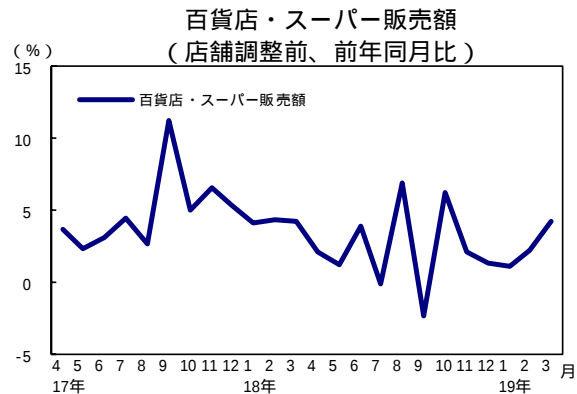
個人消費は堅調に増加している。

(1) 地域別消費総合指数(RDEI(消費))

1月は前月比1.0%減、2月は同0.9%増、3月は同0.7%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

1月は、改装効果等により化粧品や医薬品が伸長したこと等から前年を上回った。2月は、引き続き化粧品や医薬品が伸長したこと等から前年を上回った。3月は、催事効果等から食料品が増加し、化粧品が引き続き好調なことから前年を上回った。



	2019年1-3月	2019年1月	2月	3月
RDEI(消費*1)	▲0.3	▲1.0	0.9	▲0.7
百貨店・スーパー(*2)	2.6	1.1	2.2	4.3
コンビニ(*2)	5.7	5.2	6.7	5.3
乗用車(*3)	2.7	▲2.1	4.8	4.1
(季節調整値)(*3)	▲1.3	8.8	▲2.2	2.8

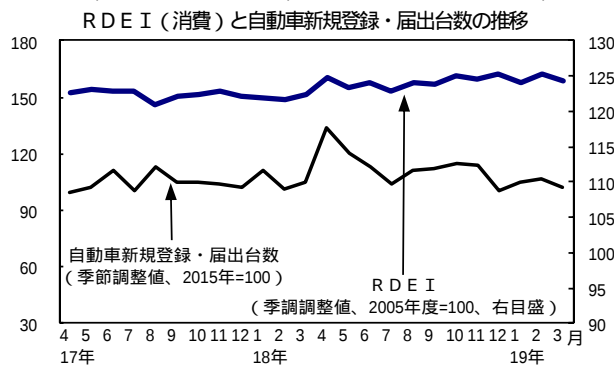
(備考) 1. 季節調整前(月)比(%)

2. 前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは経済産業省調べ(店舗調整前)

コンビニは日本銀行那覇支店調べ

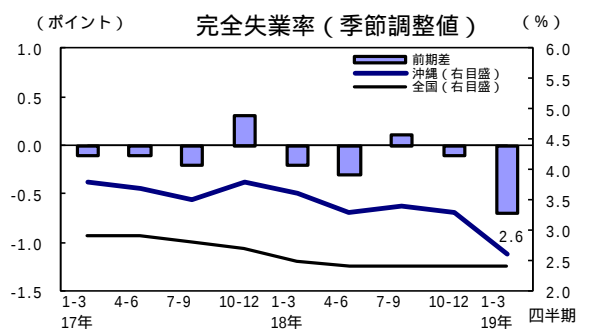
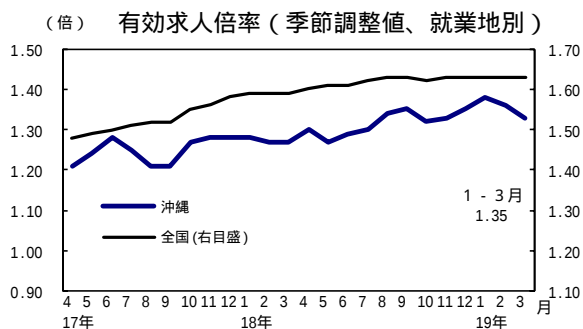
3. 乗用車は、乗用車新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 沖縄県「労働力調査」の月次値を、内閣府にて四半期平均化。